

‘コンソレ’

【Consolation】人生に敗者はいません。その瞬間をそれぞれ精一杯に生きています。私たちはその精一杯を応援します。

【 令和 8 年 8 月千葉豪雨を経験して 】

被害に遭われた方、今も復旧にご尽力されている方、お見舞い申し上げます。

当院は、幸いにも被害なく、当日も翌日も通常運営ができています。日頃の対策が功を奏した…のではなく、ただ運が良かったのだと実感しています。

当院は4階建ての1階部分です。地下はありません。電気設備は屋上にあります。浄化水槽などは建物の脇に設置（地下）されています。また、建物内はバリアフリーデザインが採用されていますので、すべてフラットです。10年程前に、正面玄関から雨水が少しだけ入り込んだことがあります。タオルや雑巾で堤防を作り、機械類への被害を防ぎました（その程度の雨量だったということです）。その後、土のうを常備することとしました。

翻って、考えます。夕方からの雨は、19:30にレベル5大雨特別警報が発令されました。その時間は、既に夜勤体制なので、院内には2名しかいません。建物裏にある土のうを玄関前に設置することは難しい状況です。帰宅することに苦労した退勤者に再出勤してもらうには、交通状況から困難で、2次災害となってしまいます。



仮に昼間の大雨だとしたら、今度は送迎の問題が出てきます。透析中の患者の帰宅が困難になります。無理に送迎車を出して、冠水、立ち往生となることは避けられないかもしれません。また、職員にとってもリスクの高い勤務となってしまいます。

これから知恵の出しあいです。様々な想定、想像、今回からの教訓。みんなで話し合い、事故の無い、あるいは被害を最小限に留める対策を検討します。

スタッフ紹介 9/48

＜一人ずつ、当院のスタッフを紹介します。恥ずかしがり屋はペンネームです。ご了承ください＞

*** Y. H *** (看護助手)

事務の仕事から看護助手に転職して1年半。右も左もわからない私に先輩たちは、とてもやさしく指導（怖）してくれます。

怖い話をもうひとつ。とある日の通勤中、頸部にズドンと強い衝撃がはしり、何事!?かと思いきや。。頭の横をカラスがスーッと通り過ぎていきました（怖）。少し前に私の推しがカラスに襲われた話をしていたのを思い出し、ちょっと嬉しくも思う私です♡

こうした日常のささやかなお話や人との繋がりは、心を温かくしてくれます。患者様やご家族様の心に寄り添い、安心をお届けできるよう、笑顔で努めてまいります。